

平成29年度 地域日本語スタートアッププログラム

～事業の状況について～

鳥栖市 市民協働推進課

平成30年3月23日



鳥栖市の状況



- * 総人口：73,270人 【H29.12.31現在】
- * 外国人人口：1,058人（1.4%）

資格	国籍
①留 学：448人	①ベトナム：278人
②技能実習生：225人	②ネパール：234人
③永 住 者：154人	③フィリピン：135人
④特別永住者：58人	④スリランカ：128人
⑤家族滞在：39人	⑤中 国：97人

※日本語学校(2校)の生徒数や技能実習生の増加が見込まれるため、外国人人口は、更に増加すると推測される。

平成29年度の取組内容(実績)

■体制整備のための調整（7H）

◎関係課等との協議や依頼

（小中学校長会、保育園、幼稚園、市内企業、健康増進課、保育園長会、子育て支援センター等）

■人材育成のための調整

◎にほんごパートナーオリエンテーションⅠ（28人応募、先着20人参加）

◎にほんごパートナー養成講座①②（20人参加）

◎にほんごパートナーオリエンテーションⅡ（4人参加）

◎にほんごパートナー養成講座①（4人参加） ※現在21人で活動

■日本語教室開設に向けた準備・検討

◎アドバイザー会議（4回：アドバイザー-2人、コーディネーター-8人、市担当者2人）

◎コーディネーター会議（コーディネーター-8人、市担当者2人）

平成29年度の取組内容(実績)

* にほんごサポーター養成講座 (9月～10月)



平成29年度の取組内容(実績)

■日本語教室の内容

◎にほんごひろば～とりんす～試行（日曜日教室4回、火曜日教室4回）

※担当コーディネーター＝担、サポートコーディネーター＝サ、アドバイザー＝ア

	日時	テーマ	学習者	パートナー	コーディネーター等
1	10/15(日)	ゴミの出し方	12人	12人	担2人、サ6人、ア1人
2	10/29(日)	自転車のルール	6人	6人	担2人、サ5人
3	11/12(日)	地震	8人	9人	担2人、サ4人
4	11/19(日)	病気	6人	11人	担2人、サ5人
5	1/30(火)	ゴミの出し方	6人	8人	担2人、サ7人
6	2/13(火)	自転車のルール	2人	9人	担2人、サ6人
7	2/27(火)	地震	4人	6人	担2人、サ5人
8	3/13(火)	病気	6人	5人	担2人、サ4人、ア2人

※にほんごパートナーから、毎回コメントを書いてもらい、教室運営に反映している。

平成29年度の取組内容(実績)

* とりんす試行 (10~12月) ※日曜日教室 10:30~12:00

①10/15「ゴミの出し方」



②10/29「自転車のルール」



③11/12「地震」



④11/19「病気」



事業の実施体制



* とりんす試行（1～3月） ※火曜日教室 19：00～20：30

①1/30「ゴミの出し方」



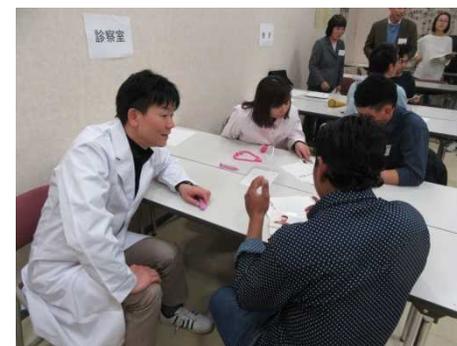
②2/13「自転車のルール」



③2/27「地震」



④3/13「病気」



平成29年度の取組内容(実績)



■コーディネーターの主な活動

貞松明子（カスタネット） 下川有美（鳥栖市）

とすにほんごひろば～とりんす～（7人）

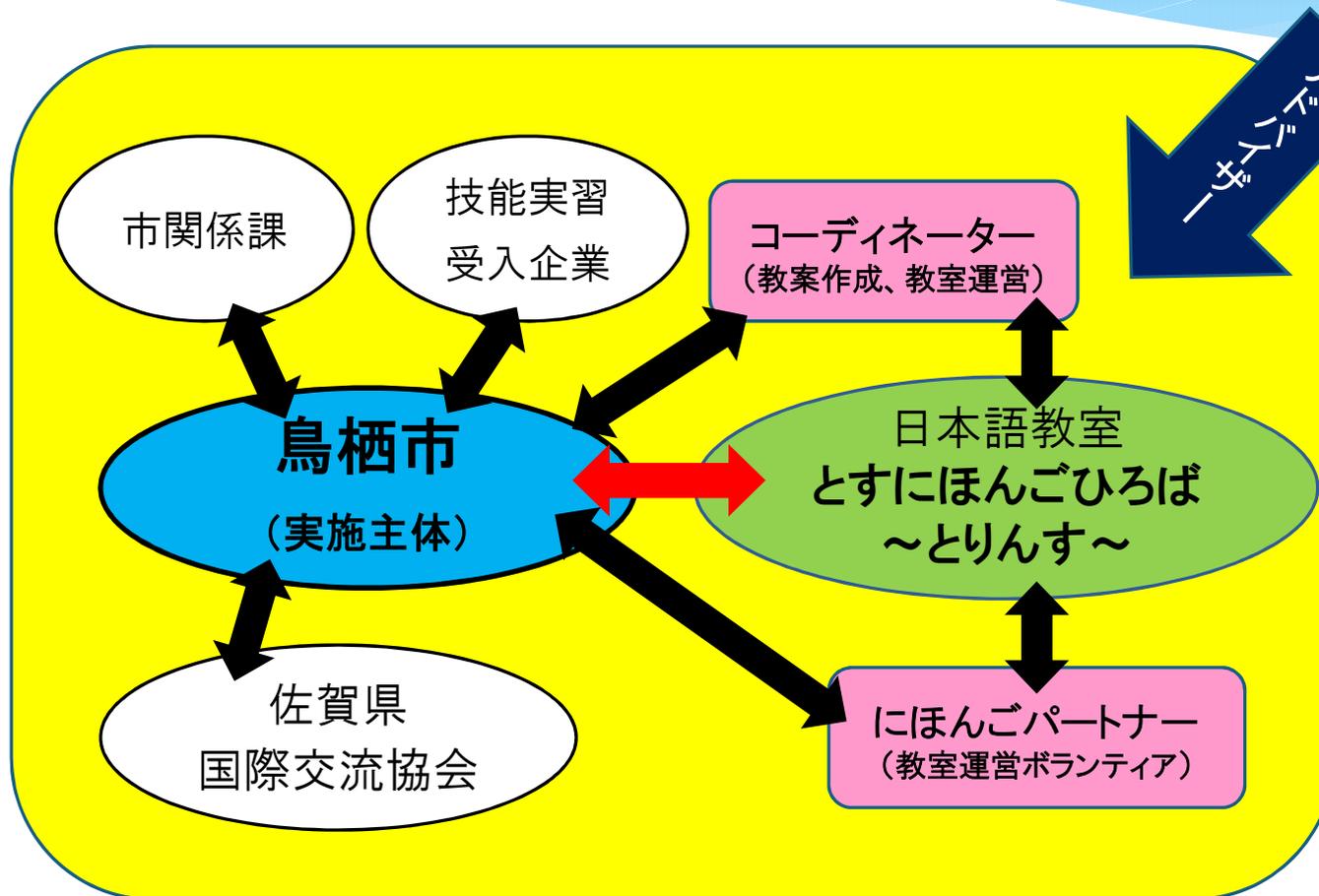
- ・にほんごパートナー募集（オリエンテーション、養成講座）（72H）
- ・学習者募集等（7H）
- ・とりんす試行に伴う教案等作成（98H）
- ・とりんす試行運営等（313H）
- ・地域視察、現状説明等（14H）

■アドバイザーの主な活動・助言

尾崎明人氏、土井佳彦氏、中東靖恵氏

- ・先進地の事例紹介、教室の目的、振り返りのためのポイント設定
- ・大学との連携、安定的な教室運営方法
- ・教室試行のテーマ
- ・とりんす試行の評価・改善点及び平成30年度事業計画案

事業の実施体制と課題



【課題】

- ・日本語教室の本稼動 (試行8回⇒20回/年)
- ・日本語が分からなくて困っている人の掘り起こし
- ・にほんごパートナーのフォローアップ研修
- ・コーディネーターの育成
- ・安定的な教室運営

平成30年度の予定

◎学習者募集

市報やホームページ、チラシ配布等を行い、学習者を募集する。

◎にほんごパートナー募集

市報やホームページ等で、にほんごパートナーを募集をする。

◎にほんごパートナー養成講座

新規パートナーへの養成講座若しくは現パートナーへのフォローアップ研修を行う。

◎やさしい日本語研修(市職員対象)

やさしい日本語研修を行い、外国人に対し、分かりやすい情報発信ができるようにする。

◎日本語教室の実施

「とすにほんごひろば～とりんす～」を年間20回程度開催する。

◎平成31年度事業計画案

カリキュラム案を作成し、安定した教室運営を計画する。

◎フェイスブックでの情報発信

やさしい日本語で活動に関する情報や、様々な情報を発信する。